

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	豊川保育園（1歳児クラス 15名）
年間テーマ	色で遊ぼう！～様々な素材に興味をもち、好奇心を育てる～
活動日	5月

### <テーマの設定理由>

生活も落ち着き、それぞれに好きな遊びを見つけ始めているが、大人もまだどんな遊びが好きかを探りながらの日々である。そんな中、ある子が「赤・黄色」などと言えるようになったり「ピンクが好き」と服の色にこだわる子が出てくる。さらに色に関心をもち、楽しめることを探したいと考え、今回は赤、黄色、ピンクの絵具を用意し、遊ぶことにした。



### <活動のために準備した素材・道具・環境設定>

タンポ、絵具(青、ピンク、黄色)、紙皿

### <活動の内容>

初めて絵具に触れる子もいるので、タンポを紙皿に押しつけて色をつけることにした。今回は、3色用意し、大人がどれがいい？と聞いてやってみる。答えず、「黄色でやってみようか」などと、大人が提示する子も多いが、「ピンクがいい」と色を選んだり、言葉では出ないが、指さして黄色を選ぶ姿がある。また、スポンジに色がつくことに興味をもち、何度もタンポを見る姿があった。「こっちにポンってすると色がつくよ」と、再度目の前で行い、隣の子の姿も知らせると、やってみる姿があり、その後「黄色いい」等と、色を変えて遊ぶ姿もあった。

### <振り返りによって得た大人の気づき>

絵具やタンポでの活動自体が初めてで、色よりも道具を使って色付けすることに関心を持っている子がほとんどだった。低月齢の子も、大人や友だちがやっている様子を見て、やり方を理解していた。初めて出した色に関心がある子も自ら椅子に座り、よく遊んでいた。初めてのことに、初め表情は硬かったが、慎重に叩いたり、押しつけて色を出そうとする姿があり、面白さを感じている様子が分かった。普段、家庭でなかなかできないこともたくさん経験していきたいと思った。